

## 組合総会開かれる

2015 年度組合総会が 3 月 4 日に組合結成の聖地である KKR ホテル金沢で開催された。総会成立の要件が確認されたあと、活動報告、および、会計報告が行われ、次いで次期執行委員が選出された。さらに 2016 年度の活動方針と予算案が承認され閉会。引き続きいて組合二十周年記念会・懇親会が催された。

懇親会では退職された木津治久教授、田中憲一教授の送別も行われた。

## 2016 年度執行委員

執行委員長 荒川 靖  
書記長 高橋達雄  
執行委員 井上裕子

副執行委員長 東 康彦  
会計 松原京子  
会計監査 林 敬

2015 年度北陸大学教職員組合決算報告書  
(2015.2.25~2016.2.24)

### 収支計算書

I 収入の部	予算	決算
前年度より繰越	8,948,017 円	8,948,017 円
組合費	900,000 円	655,200 円
寄付	- 円	20,000 円
金利	- 円	864 円
行事収入	50,000 円	40,000 円
雑収入	- 円	- 円
合計	9,898,017 円	9,664,081 円

II 支出の部	予算	決算
事務用品費	50,000 円	258 円
郵便・通信費	50,000 円	8,161 円
コピー・印刷費	50,000 円	1,637 円
資料収集費	50,000 円	- 円
上部団体納入費	350,000 円	330,000 円
旅費等出張費	200,000 円	- 円
会議費	30,000 円	9,710 円
弁護士費用	200,000 円	5,400 円
振込費等会計処理費	20,000 円	6,372 円
慶弔費	200,000 円	60,000 円
行事費	200,000 円	154,268 円
予備費	300,000 円	- 円
合計	1,700,000 円	575,806 円

収支残高	9,088,275 円
------	-------------

### 貸借対照表

I 資産の部	
預金残高	8,950,885 円
(内訳)	
北陸銀行	266,807 円
郵貯銀行総合口座	36,595 円
通常貯蓄貯金	2,898,242 円
金沢信用金庫	82,441 円
郵便振替口座	5,666,800 円
現金残高	137,390 円
合計	9,088,275 円

II 負債の部	
借入金	- 円
合計	- 円

以上のように決算報告をいたします。

2016年 2月 26日

会計

松原京子 (印)

以上の決算は正確であることを証明します。

2016年 2月 26日

会計監査

林 敬 (印)

## 北陸大学教職員組合 2016年度 予算案

### 1. 予算編成基本方針

小倉理事長・学長体制による新しい大学運営の下、法人と本教職員組合とは、団体交渉や合意のプロセスを含め、健全なる関係を構築しているところである。しかしながら、本学の完全な正常化には道程がまだあり、本教職員組合は今後もその過程を厳しく見守る必要がある。また、組合は前年度が結成二十周年であったことで、そのお祝いムードから、財政に緩みがあったことは否めない。

この状況にあつて、今期の予算は、次の事項に重きを置いて編成することとした。

- (1) 収入の部に関しては、組合員の新規加入獲得に注力し、組合の勢力の拡大と財政的基盤の強化を図る。
  - (2) 支出の部については、より強い組合の実現を目指して組合員の団結を深めるための情報収集・教宣活動の強化を図り、組合活動の効率化のための諸態勢を整える。
- その他、組合出動の危機に備えて経費の緊縮に努める。

### 2. 予算配分

収入の部 (単位円)		支出の部 (単位円)	
前期からの繰り越し	9,088,275	事務用品費	50,000
組合費	700,000	郵便・通信費	50,000
行事収入費	60,000	コピー・印刷費	50,000
合計	9,848,275	資料収集費	50,000
		上部団体納入費	350,000
		旅費等出張費	200,000
		会議費	30,000
		弁護士費用	200,000
		振込費等会計処理費	20,000
		慶弔費	200,000
		行事費	200,000
		二十年史出版費	600,000
		合計	2,000,000

収支残高	7,848,275
------	-----------

## 北陸大学教職員組合二十年史が刊行される

北陸大学教職員組合は結成以来苦難の連続であったとも言えるが、その様子を記録し、「歴史に学ぶ」ことは今後の北陸大学にとっても、有意義な事であろう。そこで、歴代の執行委員はじめ OB や関係者の方に編集委員やご執筆をお願いして組合二十年史を編纂し、3月に刊行することができた。二十年史は二十周年記念会において配付し、ご出席がかなわなかった方には郵送・配付した。まだお手元のない方で、ご興味のある方には、若干の残余があるので、執行委員までご連絡いただきたい。

## 荒川執行委員長の抱負

早いもので、執行委員長に任ぜられてから、8期目を迎えました。教職員の待遇だけではなく、教育・研究の環境も改善し、北陸大学の発展に寄与することに腐心していますが、私自身、浅学非才であることは否めず、皆様にご迷惑をかけているのではないかと案じております。しかし「決して諦めないこと」をモットーに、改善を図っていく所存ですので、皆様、何卒ご協力のほどお願いいたします。

権力者の好みで既に結論が決まっている事項を、アリバイ的に後付で会議を通して追認させるような事が、北元体制下では横行していました。物事の決定プロセスがこれでは、現場の実行者は業務の意義を納得できませんし、成就する可能性も低くなってしまいます。ですから、きちんと皆が意義を理解して気持ちよく業務遂行がなされるよう、機会あるごとに働きかけていく所存です。

## 東副執行委員長の抱負

薬学評価機構は、昨年度の第三者評価において、本学の基幹学部である薬学部には重大な問題点が認められるため、判定を“保留”としました。機構が取り上げている本学の改善すべき点 20 項目は、「組合」および「正常化を求める会」の要求事項と大部分重複しています。これらの事は、現体制に抜本的な見直しが必要であることを意味しています。また、薬学評価機構の評価内容と我々の見解に大差はないこともわかります。これらの点以外にも、人事や給与などの事項も含め、正道を歩む大学にするために活動していきたく思います。皆さま、ご支援とご賛同のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、北陸大学教職員組合のトップページ (<http://www.hussu.jpn.org>) から、組合ニュースのバックナンバーを入手することができます。新しく着任された先生方におかれましては、北陸大学の歴史、組合の活動内容や要求事項などを知るためにも、是非ご覧ください。

## 高橋書記長の抱負

北陸大学に勤め始めてから 10 年が経ちました。これまで無我夢中で勤めてまいりましたが、本年度より書記長を拝命し、その責任の重大さに改めて身の引き締まる思いです。まだまだ未熟でございますので、皆様にご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、精一杯努力いたします。微力ではございますが、北陸大学の発展のために邁進していく所存ですので、ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。